第5章

保 健 対 策 課

保健対策課は保健対策担当、感染症対策担当及び地域保健担当で組織され、専門的な対人保健サービスの提供と、保健医療を中心とした地域ネットワーク構築を役割として、感染症対策、障害児（者）保健、難病対策、精神保健福祉及び医療費助成等を実施した。

1 感染症予防対策

各種感染症対策を実施している。

（1） 感染症対策

感染症発生時には、感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律に基づいた疫学調査（法第15条）や健康診断（法第17条）等を行い、感染拡大防止や二次感染予防、感染症に対する普及啓発等を行った。また、平常時から、感染症発生動向調査事業や小児感染症サーベイランス事業により、感染症の発生状況を迅速に収集し、ホームページや広報等で市民や医療機関等に情報を発信するとともに、感染症の流行時等には、必要に応じ学校等への周知とともに注意喚起を行った。

ア 感染症届出状況

法第12条に基づく八王子市内の医療機関からの令和6年一類～五類の発生届出件数は199件であった。

感染症発生届出件数（表1－1） 令和6年（2024年）1月1日～令和6年（2024年）12月31日

区分	疾病名	令和4年	令和5年	**令和6年**
	総数	94,628	4,228	**199**
一類	エボラ出血熱	0	0	**0**
	クリミア・コンゴ出血熱	0	0	**0**
	痘そう（天然痘）	0	0	**0**
	南米出血熱	0	0	**0**
	ペスト	0	0	**0**
	マールブルグ病	0	0	**0**
	ラッサ熱	0	0	**0**
二類	急性灰白髄炎	0	0	**0**
	結核	49	41	**62**
	ジフテリア	0	0	**0**
	重症急性呼吸器症候群	0	0	**0**
	中東呼吸器症候群	0	0	**0**
	鳥インフルエンザ（H5N1）	0	0	**0**
	鳥インフルエンザ（H7N9）	0	0	**0**
三類	コレラ	0	0	**0**
	細菌性赤痢	0	0	**0**
	腸管出血性大腸菌感染症	12	15	**29**
	腸チフス	0	0	**0**
	パラチフス	0	0	**0**

区分	疾　病　名	令和4年	令和5年	**令和6年**
四類	E型肝炎	5	3	**3**
	ウエストナイル熱	0	0	**0**
	A型肝炎	0	1	**0**
	エキノコックス症	0	0	**0**
	エムポックス	0	2	**0**
	黄熱	0	0	**0**
	オウム病	0	0	**0**
	オムスク出血熱	0	0	**0**
	つつが虫病	1	1	**0**
	デング熱	0	3	**2**
	日本脳炎	0	0	**1**
	マラリア	0	0	**1**
	レジオネラ症	7	5	**12**
五類	アメーバ赤痢	3	6	**1**
	ウイルス性肝炎	0	3	**2**
	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	9	3	**2**
	急性脳炎	0	0	**1**
	クロイツフェルト・ヤコブ病	1	1	**0**
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	0	3	**4**
	後天性免疫不全症候群（HIV感染症を含む）	1	4	**2**
	ジアルジア症	0	1	**0**
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	0	0	**0**
	侵襲性髄膜炎菌感染症	0	0	**0**
	侵襲性肺炎球菌感染症	2	4	**9**
	水痘（入院例に限る）	1	2	**2**
	梅毒	40	42	**39**
	播種性クリプトコックス症	0	0	**2**
	破傷風	0	1	**0**
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	0	1	**0**
	百日咳	1	5	**25**
	風しん	0	0	**0**
	麻しん	0	0	**0**
新型コロナウイルス感染症		94,496	4,081	

イ　感染症の診査に関する協議会

法に基づき、入院の勧告、就業制限、結核患者等の医療費公費負担等について、保健所に設置された「感染症の診査に関する協議会」で必要な事項を審議し、その意見を反映した。令和6年度（2024年度）は32回開催した。

ウ 健康診断

感染症発生時に、法第17条に基づき、患者・関係者に対し健康診断を実施した。（結核に関するものは別途記載）

検便実施状況（表1－2）

年度		検査件数	陽性者総数	内　訳		
				腸管出血性大腸菌感染症	パラチフス	赤痢
4		51	4	4	0	0
5		86	10	10	0	0
6		**189**	**16**	**16**	**0**	**0**
内訳	病後経過者	45	8	8	0	0
	患者関係者	144	8	8	0	0

エ 積極的疫学調査

感染症発生時、積極的疫学調査を行い、感染経路の特定や二次感染の予防に努めた。また、必要時には調査の一環として検体検査（麻しん等）を行った。

積極的疫学調査実施状況（表1－3）

（件）

年　度（区　分）		麻しん	ノロウイルス	赤痢	腸管出血性大腸菌	結核	レジオネラ	コロナ	その他	計
令和4年度		0	41	0	17	24	6	364	98	550
令和5年度		4	28	0	17	34	6	213	144	446
令和6年度	高齢者福祉施設	0	9	0	0	12	0	58	18	97
	障害者福祉施設	0	7	0	0	2	0	9	2	20
	学校	0	1	0	0	3	0	3	0	7
	保育園・幼稚園	0	12	0	1	0	0	5	88	106
	病　院	0	0	0	0	12	0	22	3	37
	その他	0	0	0	1	4	1	0	0	6
	小計	0	29	0	2	33	1	97	111	273
	個人	9	0	0	31	0	9	0	18	67
	合計	**9**	**29**	**0**	**33**	**33**	**10**	**97**	**129**	**340**

オ　肝炎ウイルス検査、相談及び陽性者への保健指導

過去に検査を受けたことがなく、かつ職場等でも検査を受ける機会のない39歳以下の市民を対象に、B型肝炎及びC型肝炎ウイルス検査を市内医療機関に委託して無料で行うとともに、陽性者（健康増進法による40歳以上の検診対象者を含む。）に対しては、治療勧奨、肝炎手帳の配布、医療費助成の案内等、保健指導を行った。陽性者には、早期に専門医療機関に繋がる重要性を周知した。また、ウイルス肝炎に関し、健康不安を抱える市民等からの相談を受け、検診の勧奨や正しい知識の普及に努めた。

ウイルス肝炎検査等実施状況（表1－4）

年度	陽 性 者 ＊			陽性者への保健指導		
	計	B型	C型	計	B型	C型
4	6	4	2	6	4	2
5	1	1	0	1	1	0
6	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**

*健康増進法による検診対象者を含む

カ　八王子市小児感染症サーベイランス事業

八王子市における小児感染症にかかわる情報を迅速に収集・分析・発信し、小児感染症のまん延を防止するために、感染症発生動向調査事業の定点である11医療機関に、市独自の2医療機関を加えた市内の小児科13医療機関の協力により、毎週報告を集約しホームページで情報を発信している。

（2）エイズ対策

HIV／エイズ予防のための知識の普及と感染に対する不安、悩み等の解決を図るため、医師、保健師による相談（電話・来所）及びHIV検査を行った。

HIV検査時、併せて梅毒の性感染症の検査も実施した。

エイズ相談・HIV抗体検査実施状況（表1－5）

区分／年度	相談			HIV検査	性感染症検査		
	合計	電話	来所		梅毒	クラミジア	淋菌
4	747	207	540	265	264	260	260
5	660	201	459	228	228	-	-
6	**918**	**111**	**807**	**418**	**418**	-	-

エイズ普及啓発等実施状況（表1－6）

実施年月日	内容	対象者	配布数
令和4年度	HIV・性感染症予防のための普及啓発活動（チラシとコンドームの配布）	八王子駅前利用者等	800
令和5年度	HIV・性感染症予防のための普及啓発活動（チラシとコンドームの配布）	八王子駅前利用者等	760
令和6年4月25日	HIV/性感染症について（チラシの配布）	エイズ・ピア・エデュケーター	**15**
令和6年5月12日	HIV/性感染症について（チラシとコンドームの配布）	学生天国来場者	**200**
令和6年10月26日	HIV/性感染症について（チラシとコンドームの配布）	帝京大学祭来場者	**200**

（3） 結核対策

結核の予防、早期発見、早期治療、再発防止及び感染拡大防止を図るため、患者登録、入院勧告、就業制限、療養支援、治療終了後の管理検診及び家族・接触者に対する健康診断・保健指導を実施するとともに医療費の公費負担事務を行った。また、患者支援として地域DOTS（ Directly Observed Treatment, Short－course：直接服薬確認療法）事業を行っている。

ア 結核登録者状況

新登録患者件数（活動性分類、受療別）（表1－7） 令和6年（2024年）1月1日～令和6年（2024年）12月31日

区分		登録患者数								潜在性結核（別掲）
		登録者総数	活動性結核							
			肺結核活動性						肺外結核活動性	
			総数	喀痰塗沫陽性			その他の結核菌陽性	菌陰性・その他		
				総数	初回治療	再治療				
4年総数		36	28	16	14	2	9	3	8	11
5年総数		31	24	14	14	0	8	2	7	6
6年総数		**44**	**35**	**14**	**13**	**1**	**18**	**3**	**9**	**14**
医療形態	入院中	21	18	14	13	1	4	0	3	0
	外来治療中	23	17	0	0	0	14	3	6	14
	治療なし	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	不明	0	0	0	0	0	0	0	0	0

新登録患者数（活動性分類、年齢階級別）（表1－8） 令和6年（2024年）1月1日～令和6年（2024年）12月31日

区分	登録患者数								潜在性結核（別掲）
	登録者総数	活動性結核							
		肺結核活動性						肺外結核活動性	
		総数	喀痰塗沫陽性			その他の結核菌陽性	菌陰性・その他		
			総数	初回治療	再治療				
4年総数	36	28	16	14	2	9	3	8	11
5年総数	31	24	14	14	0	8	2	7	6
6年総数	**44**	**35**	**14**	**13**	**1**	**18**	**3**	**9**	**14**
～ 4	0	0	0	0	0	0	0	0	1
5 ～ 9	0	0	0	0	0	0	0	0	0
10 ～ 14	0	0	0	0	0	0	0	0	0
15 ～ 19	3	3	1	1	0	1	1	0	1
20 ～ 29	5	4	1	1	0	3	0	1	4
30 ～ 39	2	2	0	0	0	2	0	0	0
40 ～ 49	7	5	1	1	0	3	1	2	1
50 ～ 59	1	1	1	1	0	0	0	0	2
60 ～ 69	4	2	1	1	0	1	0	2	0
70 ～	22	18	9	8	1	8	1	4	5

年末現在登録者数（活動性分類、受療別）（表1－9）

令和6年（2024年）12月31日現在

区分		登録患者数											潜在性結核（別掲）	
		登録者総数	活動性結核							肺外結核活動性	不活動性結核	活動性不明		
			総数	肺結核活動性										
				総数	喀痰塗沫陽性			その他の結核菌陽性	菌陰性・その他					
					総数	初回治療	再治療						治療中	観察中
4年総数		85	20	15	7	7	0	6	2	5	63	2	9	2
5年総数		71	22	16	10	9	1	5	1	6	49	0	3	6
6年総数		**76**	**26**	**20**	**8**	**7**	**1**	**10**	**2**	**6**	**47**	**3**	**5**	**11**
医療形態	入院中	2	2	2	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0
	外来治療中	24	24	18	6	5	1	10	2	6	0	0	5	0
	治療なし	50	0	0	0	0	0	0	0	0	47	3	0	11
	不明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

年末現在登録者数（活動性分類、年齢階級別）（表1－10）

令和6年（2024年）12月31日現在

区分	登録患者数											潜在性結核（別掲）	
	登録者総数	活動性結核							肺外結核活動性	不活動性結核	活動性不明		
		総数	肺結核活動性										
			総数	喀痰塗沫陽性			その他の結核菌陽性	菌陰性・その他					
				総数	初回治療	再治療						治療中	観察中
4年総数	85	20	15	7	7	0	6	2	5	63	2	9	2
5年総数	71	22	16	10	9	1	5	1	6	49	0	3	6
6年総数	**76**	**26**	**20**	**8**	**7**	**1**	**10**	**2**	**6**	**47**	**3**	**5**	**11**
～ 4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5 ～ 9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
10 ～ 14	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
15 ～ 19	2	1	1	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0
20 ～ 29	5	1	1	0	0	0	1	0	0	4	0	2	2
30 ～ 39	7	3	2	0	0	0	2	0	1	4	0	0	0
40 ～ 49	9	3	3	0	0	0	2	1	0	6	0	0	2
50 ～ 59	5	2	1	1	1	0	0	0	1	2	1	1	4
60 ～ 69	9	3	2	1	1	0	1	0	1	6	0	0	0
70 ～	39	13	10	6	5	1	3	1	3	24	2	2	3

イ 結核患者に対する医療

感染症の診査に関する協議会において、結核医療の適否について診査を行った。この結果、承認された者に対して、医療費公費負担を実施した。

結核医療費関係公費負担診査状況（表1－11）

区　　分	通院患者（37条の2）			入院患者（37条）		
	申請	承認	不承認	申請	承認	不承認
4年度総数	64	63	1	50	50	0
5年度総数	51	47	4	51	50	1
6年度総数	**85**	**84**	**1**	**35**	**35**	**0**
初　回	61	61	0	18	18	0
継続再発	24	23	1	17	17	0

結核地域DOTS事業支援状況（表1－12）

区分	Aタイプ	Bタイプ	Cタイプ	計
4年度	17	2	36	55
5年度	21	0	34	55
6年度	**36**	**1**	**43**	**80**

Aタイプ：治療中断リスクが高い患者・・・保健所来所、保健師その他関係者の自宅訪問、調剤薬局等でほぼ毎日服薬確認

Bタイプ：服薬支援が必要な患者・・・・・保健所の来所または調剤薬局等で服薬確認

Cタイプ：A、Bタイプ以外の患者・・・・電話・手紙・調剤薬局等で服薬確認

ウ 結核検診

結核健康診断実施状況（表1－13）

区　分		検査内容						結核有所見	
		総　数	ツベルクリン反応検査	ＱＦＴ検査等	エックス線間接撮影	エックス線直接撮影	喀痰検査	結核患者	要観察者
4年度		632	0	196	0	436	0	4	3
5年度		1,046	0	356	2	687	1	4	7
6年度		**1,211**	**2**	**540**	**0**	**668**	**1**	**10**	**16**
接触者健診		591	2	540	0	48	1	9	15
内訳	患者家族	54	0	37	0	16	1	0	0
	接触者	537	2	503	0	32	0	9	15
管理検診		8	0	0	0	8	0	0	0
日本語学校健診		612	0	0	0	612	0	1	1
受託検診		0	0	0	0	0	0	0	0

結核定期健康診断実績（表1－14）

年度		対象施設数	対象者数	受診者数	受診率	患者発見数	患者発見率	報告書提出数	提出率
		(A)	(B)	(C)	(C)／(B)	(D)	(D)／(C)	(E)	(E)／(A)
令和4年度		984	203,163	104,586	51.5%	1	0.001%	628	63.8%
令和5年度		945	198,791	98,466	49.5%	1	0.001%	518	54.8%
令和6年度		**997**	**196,877**	**104,491**	**53.1%**	**2**	**0.002%**	**584**	**58.6%**
内訳	事業者	900	20,423	18,394	90.1%	1	0.005%	530	58.9%
	学校長	52	18,380	17,827	97.0%	0	0.000%	28	53.8%
	施設長	44	1,714	1,667	97.3%	0	0.000%	25	56.8%
	市町村長	1	156,360	66,603	42.6%	1	0.002%	1	100.0%

結核健康教育（表1－15）

年度	開催回数		参加人数	
令和4年度	14		378	
令和5年度	17		492	
令和6年度	**6**		**626**	
令和6年度内訳	内容	講師	対象者	参加者数
6月21日	結核予防対策講習会	保健師	日本語学校学生	47
7月8日	結核予防対策講習会	保健師	日本語学校学生	182
7月9日	結核予防対策講習会	保健師	日本語学校学生	188
9月4日	結核予防講演会	保健師	都内日本語教育機関	131
11月15日	結核予防対策講習会	保健師	日本語学校学生	58
11月29日	結核予防講演会	保健師	高齢者福祉施設従事者	20

2 精神保健福祉

精神保健福祉活動の第一線機関として、精神障害の早期発見・早期治療の促進及び精神障害者の社会復帰・社会参加を援助するため、相談、訪問指導、精神保健福祉に関する教育、広報活動、患者・家族等の組織育成等の事業を行っている。また、庁内の関係部署や地域の関係機関と日常的な連携を図り、安心して暮らしやすい地域づくりを目指している。

（1） 地域精神保健医療福祉推進会議及び実務者連絡会

精神障害に対する地域ケアの充実と地域住民の心の健康の保持増進を総合的かつ効果的に進めることを目的に、地域の関係機関の代表者による意見交換の場として、「八王子市地域精神保健医療福祉推進会議」を設置している。また、具体的な課題について検討するため、関係機関の実務担当者による「実務者連絡会」を設置している。

地域精神保健医療福祉推進会議（表2ー1）

開催回数			内　　容
4年度	5年度	**6年度**	
1	1	**1**	①精神保健福祉事業実績報告
			②八王子市における「にも包括」について

地域精神保健医療福祉実務者連絡会（表2ー2）

開催回数			内　　容
4年度	5年度	**6年度**	
1	2	**2**	①令和5年度精神保健福祉事業実績報告
			②八王子市における「にも包括」の取り組みについて
			③「にも包括」に関する意見交換

（2） 精神保健福祉相談

精神疾患に関する診断や対応方法等について、専門医等による一般精神保健福祉相談、高齢者精神保健相談、酒害相談及び思春期相談を実施した。保健師による家庭訪問、来所面談、電話相談等は随時実施している。

精神保健福祉相談・訪問指導（専門医による）（表2ー3）

年度	精神保健福祉相談							(再掲)精神保健福祉訪問指導							
	実施回数	実人員	延人員	内訳				実施回数	実人員	延人員	内訳				
				高齢者	酒害	思春期	一般精神保健				高齢者	酒害	思春期	一般精神保健	その他
4	33	104	107	13	5	31	58	1	2	2	0	0	2	0	0
5	35	95	96	15	5	22	54	1	2	2	0	0	0	2	0
6	**33**	**75**	**75**	**10**	**3**	**22**	**40**	**2**	**3**	**3**	**0**	**0**	**2**	**1**	**0**

精神保健福祉延相談数（保健師による）（表2ー4）

年　　度		老人精神	社会復帰	依存症	児童・思春期	心の健康づくり	摂食障害	てんかん	一般精神	その他	合計
4		64	87	340	185	2,331	17	105	10,409	41	13,579
5		96	40	308	173	2,644	4	188	10,559	98	14,110
6		**85**	**76**	**517**	**222**	**3,068**	**21**	**204**	**8,041**	**89**	**12,323**
内訳	家庭訪問	5	15	41	5	114	1	10	548	5	744
	面接相談	11	10	34	58	370	0	17	541	2	1,043
	電話相談	37	13	251	102	1,921	17	100	4,450	49	6,940
	文書等相談	1	0	7	5	5	0	2	95	1	116
	関係機関連絡	31	38	184	52	658	3	75	2,407	32	3,480

（3） 未治療・治療中断患者等地域支援事業（困難事例検討会）

保健師が地区活動を実施している対象者で、多問題で対応が困難な未治療・治療中断事例を、東京都立多摩総合精神保健福祉センターの医師や職員をスーパーバイザーとして事例検討し、課題解決に繋げている。

（4） 精神障害者早期訪問支援事業

地域で生活している未治療・治療中断等の精神障害者及びその家族等に対し、早期に訪問支援等を実施し、病状の診たて、生活状況の確認を行い、支援方針を検討した中で、受診勧奨、本人・家族への心理的・社会的サポートを行っている。

なお、支援に際し、市内精神科病院精神科医師のスーパーバイズや、事業の評価のための運営評価会議を行っている。

早期訪問支援事業による活動実績（表2ー5）

年　度	活動実績回数	支援実人数	家庭訪問延べ回数	来所面接延べ人数
4	133	85	97	36
5	189	119	140	49
6	**193**	**112**	**134**	**59**

・連絡調整会 ： 6回（保健所職員、市内病院精神保健福祉士、東京都立多摩総合精神保健福祉センター職員）

・精神科医師によるスーパーバイズ ： 5回

運営評価会議（表2ー6）

年度	開催回数	内　容	参加者数
4	1	令和4年度実績報告	29
5	1	令和5年度実績報告　意見交換	32
6	**1**	令和6年度実績報告　意見交換	**28**

・運営評価会議 ： 1回（市内精神科病院病院長・精神保健福祉士、保健所職員、東京都立多摩総合精神保健福祉センター職員）

（5） 精神保健福祉法に基づく医療保護入院

精神保健指定医に精神障害があると診断され、かつ医療及び保護のため入院の必要があると認められた場合、本人の同意がなくても、その家族等の同意があれば、入院（医療保護入院）させることができる。

当所が進達した管内の精神科病院（16か所）が扱った医療保護入院数は表のとおり。

医療保護入院届出数（法第33条第1項）（表2－7）

年度	管内総計	症状性を含む器質性精神障害（F00～F09）			精神作用物質使用による精神及び行動の障害（F10～F19）				統合失調症・分裂型障害及び妄想性障害（F20～F29）	気分（感情）障害（F30～F39）	神経性障害・ストレス関連障害及び身体表現性障害（F40～F48）	生理的障害及び身体的要因に関連した行動症候群（F50～F59）	成人の人格及び行動の障害（F60～F69）	知的障害（精神遅滞）（F70～F79）	心理的発達の障害（F80～F89）	小児（児童）期及び青年期に通常発生する行動及び情緒の障害（F90～F98）	詳細不明の精神障害（F99）
		小計	内訳		小計	内訳											
			認知症	認知症以外		アルコール使用（飲酒）による	覚せい剤（アンフェタミン）	その他の使用									
4	1,955	711	613	98	106	90	2	14	602	304	71	15	13	70	46	17	0
5	2,052	819	733	86	85	73	5	7	623	322	45	3	21	78	39	17	0
6	**1,884**	**662**	**594**	**68**	**118**	**101**	**2**	**15**	**616**	**305**	**46**	**1**	**21**	**48**	**41**	**26**	**0**

（6） 警察官通報等による診察及び保護の申請、通報の受理

警察官等は、精神障害のために自傷他害のおそれがある者を発見したときは、直ちに、最寄りの保健所長を経由して知事に通報することになっている。

精神保健福祉法に基づく診察及び保護の申請、通報受理数（表2－8）

年度	管内総数	内訳			
		第22条	第23条	第26条の2	第26条の3
		（一般人の申請）	（警察官の通報）	（精神病院管理者の届出）	（心神喪失等の状態で重大な他害行為を行った者に係る通報）
4	103	0	103	0	0
5	109	0	109	0	0
6	**117**	**0**	**117**	**0**	**0**

（7） 社会復帰促進事業精神保健グループ（デイケア）

回復途上の精神障害者がスポーツ、創作、ミーティング、屋外活動等の集団生活指導を通じて、社会生活の適応と対人関係の改善を図ることを目的として、保健所で月3回行っている。また、グループワークのほか、個別相談会を年3回実施し、目標の確認や修了後の生活イメージを持つなどステップアップを図った。このほか評価会議と運営会議をそれぞれ年1回実施し、事業方針及び実績の評価を行った。

社会復帰促進事業精神保健グループ（デイケア）実施状況（表2ー9）

年 度	実施回数	参 加 者 数	
		実参加者数	延べ参加者数
4	32	11	183
5	33	9	140
6	**34**	**11**	**180**

社会復帰促進事業精神保健グループ（デイケア）参加者の動向（表2ー10）

年 度	総 数（実人数）			継続					終了
				計	保健所のみ	作業所等併用	他デイケア	その他	計
4	11	男	7	4	2	1	1	0	3
		女	4	3	1	1	0	1	0
5	9	男	6	4	1	2	0	1	2
		女	3	3	2	1	0	0	0
6	**11**	男	**5**	**3**	**2**	**1**	**0**	**0**	**2**
		女	**6**	**5**	**4**	**0**	**0**	**1**	**1**

社会復帰促進事業精神保健グループ終了者の動向（表2ー 11）

年 度	総 数（実人数）			自宅療養	若者サポートステーション	病院デイケア	作業所等	就労・就学	その他
4	3	男	3	0	0	0	1	1	1
		女	0	0	0	0	0	0	0
5	2	男	2	1	0	0	1	0	0
		女	0	0	0	0	0	0	0
6	**3**	男	**2**	**1**	**0**	**0**	**0**	**0**	**1**
		女	**1**	**1**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**

（8） 思春期の課題を抱える家族グループ

社会的引きこもり等の課題を抱える家族を対象に、家族がより良い対応やコミュニケーションの工夫を学び、「引きこもり」等の理解と回復を目的に、親のためのグループワークを実施（月1回開催）している。グループ運営会議を年1回実施し、事業方針及び実績の評価を行った。

思春期の課題を抱える家族グループ実施状況（表2ー12）

年　度	実施回数	参加者数	
		実参加者数	延べ参加者数
4	9	17	102
5	10	20	131
6	**10**	**17**	**123**

（9） 組織育成・普及啓発事業等

こころの健康づくり普及啓発講演会

精神保健福祉に関する知識の普及を図り、地域住民のこころの健康の保持増進を目指すことを目的に、年1回講演会を実施している。

こころの健康づくり普及啓発講演会（表2ー13）

年度	開催回数	対　象	テーマ	講　師	参加人数
4	1	支援者	援助者が疲弊しやすいケースへの対応方法やその人の病理理解	成仁病院 春日武彦医師	45
5	1	市民	あなたと周りのメンタルヘルス不調への気付きと対応	恩方病院 堤祐一郎医師	71
6	**1**	市民	生きづらさからの回復 ～アルコール・うつ・自殺～	国立精神・神経医療研究センター病院 松本俊彦医師	**71**

（10） 自殺対策

自殺の背景は、健康問題、経済・生活問題、家族問題、勤務の問題等が複雑に関係し、追い込まれた末の死といわれている。八王子市では、自殺対策を総合的かつ効果的に推進するため、庁内関係部署からなる「八王子市自殺対策庁内連絡会」を設置し、情報共有や連絡調整、事業連携を図ってきた。これまでの取り組みを発展させる形で、総合的に自殺対策を推進するため、令和6年度（2024年度）から第2期八王子市自殺対策計画を実施し、計画に基づく取り組みを展開している。

ア 自殺対策庁内連絡会・自殺対策検討会議・自殺未遂者支援会議

会議実施状況（表2ー14）

会議名	実施回数		
	4年度	5年度	**6年度**
自殺対策庁内連絡会	2	4	**2**
自殺対策検討会議	2	4	**2**
自殺未遂者支援会議	2	2	**2**

イ 身近なゲートキーパー養成

自殺に関する普及啓発とともに自殺の危険のある人を早期に発見し、自殺予防のために連携協力して取り組む身近なゲートキーパーの養成研修を、民生委員等の依頼教育時や旅館施設管理者講習会等の機会を活用し、実施した。

身近なゲートキーパー養成状況（表2ー15）

年 度	開催回数	参加者数
4	3	80
5	9	556
6	**17**	**747**

ウ 広報、啓発等

自殺対策強化月間 （9月・3月）に合わせ、広報掲載、保健所前に啓発看板の掲示、河川情報掲示板、ケーブルテレビやYouTubeによるゲートキーパーに関する配信を実施した。また「こころの体温計」による啓発を行った。

エ わかち合いの会

自死で大切な家族を亡くされた方への支援を行う会。市外からの利用者もいる。

わかち合いの会実施状況（表2ー16）

年 度	開催回数	参加者数
4	6	24
5	5	21
6	**6**	**19**

（11） 家族会支援

精神障害者の社会復帰の促進、自立と社会経済活動への参加の促進のため、精神障害者の家族会、認知症高齢者家族会に情報提供や相談支援を行っている。

家族会開催状況（表2ー17）

会の名称	対 象	参加回数		
		4年度	5年度	**6年度**
わかくさ家族の会	八王子市の精神障害者を持つ家族	8	7	**5**
さーくる南	南大沢周辺の精神障害者を持つ家族	10	6	**5**

3 特殊疾病(難病)対策

特殊疾病の患者・家族は、疾病の特殊性から医療面・経済面・介護面等に種々の問題を抱え、長期療養となっている。保健所では医療機関、訪問看護ステーション、介護サービス事業所等の地域の関係機関とネットワークの充実を図りながら、患者・家族の医療や療養生活に関する問題に対し支援を行っている。

(1) 特殊疾病対策事業訪問相談

特殊疾病対策事業訪問等相談実施状況(表3ー1)

(件)

年度		総　数	家庭訪問	所内相談	電話相談	その他の相談	関係機関連絡
4		1,119	199	65	513	19	323
5		1,171	238	104	472	33	324
6		**1,042**	**176**	**60**	**446**	**32**	**328**
内訳	保健師	1,021	155	60	446	32	328
	理学療法士	21	21	0	0	0	0
	作業療法士						
	言語聴覚士						
	栄養士	0	0	0	0	0	0

(2) 難病講演会

講演会実施状況(表3ー2)

年度	参加者数	内　　容
4	47	「パーキンソン病を知ろう、そして考えよう」 永生病院　パーキンソン病センター　脳神経内科　久保信一郎医師
5	33	「脊髄小脳変性症と多系統萎縮症の治療」 東京都立神経病院　脳神経内科　飛澤晋介医師
6	**91**	「パーキンソン病治療の実際と最新情報」 永生病院　パーキンソン病センター　脳神経内科　久保信一郎医師

(3) 患者会支援育成

喜楽会(パーキンソン病患者交流会)、八王子にじの会(脊髄小脳変性症・多系統萎縮症の療養者・家族の会)の2団体を支援した。

患者会開催状況(表3ー3)

年度	開催回数	参加者数
4	20	271
5	21	273
6	**19**	**157**

（4） 医療機器貸与及び訪問看護

気管切開、人工呼吸器装着の難病等の在宅療養者に東京都医療機器貸与事業により、吸引器・吸入器の貸与を行っている。

この制度を活用している事例では、多機関多職種の支援を得て在宅療養をしているため、保健師が在宅療養に係る関係機関の連絡調整を行い、患者・家族の安定した療養環境の整備に努めている。

医療機器貸与実施状況（表3－4）

年度	貸与者数	機器貸与件数		訪問看護利用者数	訪問看護実績
		吸引器	吸入器		
4	9	8	4	0	0
5	9	8	4	0	0
6	**9**	**8**	**4**	**0**	**0**

（5） 在宅療養支援地域ネットワーク事業

難病の地域ケア・ネットワークづくりを目指し、難病保健医療福祉調整会議及びステーション連絡会、難病実務者会を設置している。

医師会、障害者福祉・介護保険の担当部署、社会福祉協議会、訪問看護ステーション、高齢者あんしん相談センター及び医療機関等の関係機関の実務者により構成する会議を開催し、研修や事例検討、情報交換等を通して地域の課題を検討する場としている。

在宅療養支援ネットワーク事業実施状況（表3－5）

開催年月日		会議名	開催回数	参加者数	内容
4	8月26日	新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため中止			
	10月21日	実務者会（訪問看護ステーション連絡会）	1	30	神経難病の実態と治療：ALS・脊髄小脳変性症を中心として
	2月16日	難病保健医療福祉調整会議	1	18	・停電シミュレーションの実施について ・災害時個別支援計画と避難行動要支援者個別避難について
5	6月30日	実務者会（訪問看護ステーション連絡会）	1	34	神経難病の基礎知識～病態と最新治療、ケアの視点について～
	10月31日	実務者会（訪問看護ステーション連絡会）	1	26	難病ケアマネジメントの特徴～多職種連携による展開～
	2月29日	難病保健医療福祉調整会議	1	13	・停電シミュレーションの実施の報告 ・災害時個別支援計画と避難行動要支援者個別避難計画の整合性について ・令和6年能登半島地震における災害派遣報告
6	6月25日	実務者会	**1**	**36**	在宅人工呼吸器者における災害時個別支援計画　停電時の対応を考える
	11月7日	実務者会	**1**	**25**	皆で語ろう　多職種による難病患者支援　in　Hachioji
	1月31日	難病保健医療福祉調整会議	**1**	**14**	・災害時個別支援計画の現状と停電シミュレーションの取組 ・ALS交流会の経過と今後について ・災害時における難病患者への支援対策

（6） 八王子市在宅人工呼吸器使用者災害時支援事業

災害時の要援護者対策において、とりわけ緊急性・特殊性が高い在宅の人工呼吸器使用者に対し、災害時の被害を最小限にとどめることを目的に、「在宅人工呼吸器使用者災害時個別支援計画」を作成した。支援計画書は、家族と保健所等関係機関で情報を共有し、災害時に備えている。また、人工呼吸器使用者は、災害時において電力の供給の停止がそのまま命の危険に直結するため、自家発電機を給付する。

ア　在宅人工呼吸器使用者災害時個別支援計画策定状況（表3－6）

年度	災害時個別支援計画作成件数
4	38
5	35
6	**28**

イ　在宅人工呼吸器使用者災害時支援事業（自家発電機給付）（表3－7）

年度	給付件数
4	0
5	4
6	**2**

4 療育相談事業

自立支援医療（育成医療）や小児慢性疾患の医療費助成の申請受理・審査及び医療券の発行を保健所で実施している。また、長期にわたり療養を必要とする子どもや重度心身障害児（者）の療養上の相談や講演会、患者会支援等を行っている。

（1） 療育相談事業

保健師による家庭訪問や面接相談を行い、療養上の相談に応じている。また、東京都で実施している「在宅重症心身障害児（者）訪問事業」の申請の窓口であり、必要に応じて関係機関調整等を実施している。

療育相談対応状況（表4－1）

（件）

年度	対象	家庭訪問	面接相談	電話相談	その他の相談	関係機関連絡
4	心身障害児（者）	47	3	55	0	226
	（再掲）重症心身障害児（者）	12	3	26	0	40
	長期療養児	23	4	111	0	41
5	心身障害児（者）	27	8	147	8	150
	（再掲）重症心身障害児（者）	7	1	37	0	39
	長期療養児	47	9	90	1	160
6	心身障害児（者）	**38**	**11**	**113**	**3**	**132**
	（再掲）重症心身障害児（者）	**16**	**5**	**58**	**2**	**51**
	長期療養児	**34**	**8**	**67**	**1**	**154**

（2） 在宅重症心身障害児（者）訪問事業

在宅重症心身障害児（者）訪問状況（表4－2）

年度	対象	利用者		終了者
		新規	更新	
4	医ケア児	2	3	7
	重　心	0	0	
5	医ケア児	9	4	1
	重　心	1	1	
6	医ケア児	**6**	**7**	**6**
	重　心	**0**	**1**	

（3）在宅療育支援地域連携会議（表4－3）

年度	開催回数	内容
4	1（WEB開催）	令和4年度実績報告等
5	1（WEB開催）	令和5年度実績報告等
6	1（WEB開催）	令和6年度実績報告等

（4） 障害児グループ支援状況（表4－4）

年度	支援回数	参加人数	内　　容
4	4	31	情報共有、療育相談
5	4	17	情報共有、療育相談
6	**1**	**6**	情報共有、療育相談

対象：ダウン症児を持つ親子の会（ひよこの会）、病気や障害を持つ親子の会（きりんさんの会）

5 環境公害保健

（1） 光化学スモッグ被害対策

光化学スモッグによると思われる健康被害の届出を受けた場合は、被害状況の把握及び必要に応じて現地調査を行っている。

なお、令和6年度（2024年度）の光化学スモッグによる健康被害の届出件数は0件であった。

（2） 大気汚染障害者認定審査会

大気汚染に係る健康障害者の医療費助成を行うため認定審査会を設置し、月1回審査を行った。

令和7年（2025年）3月末現在の八王子市の認定者数は1,892人であった。

大気汚染医療費助成申請件数（表5－1）

区　分		総数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
4年度		1,120	67	85	60	60	97	87	100	104	93	113	123	131
5年度		1,015	143	74	93	134	73	74	108	74	63	64	61	54
6年度		**968**	**63**	**48**	**81**	**47**	**70**	**84**	**75**	**80**	**130**	**72**	**123**	**95**
内訳	新　規	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	更　新	968	63	48	81	47	70	84	75	80	130	72	123	95

6 保健師活動

保健師活動は、地域住民の健康の保持増進、疾病の予防と早期発見・健康回復及び社会復帰への援助等を目的として、地域の保健ニーズに基づき、感染症、精神、難病、障害児等に対応する。具体的な活動内容は家庭訪問、健康相談、健康教育、関係機関との連絡調整、保健活動推進のための企画、運営への参画、保健・医療系学生への教育、実習指導及び研究活動等である。

（1） 専門的・広域的対人保健活動

ア 保健指導体制

地域を分割し、地区担当保健師が対応している。また、処遇困難事例については関連機関と連携し、複数で対応している。

イ 地区活動状況

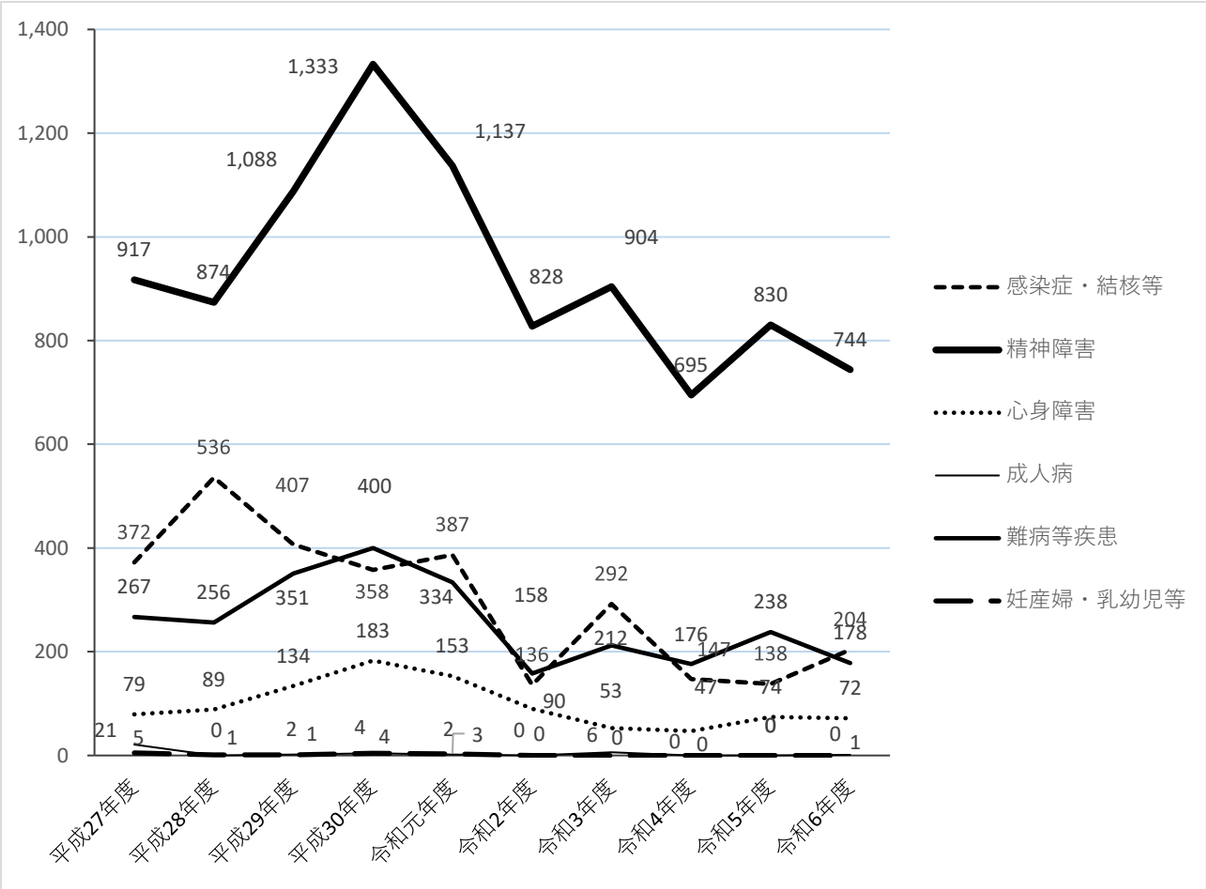
保健師活動状況（表6－1）

（件）

年度	区分	総数	保健対策課保健師活動（感染症・地域保健担当）														
			感染症	結核	エイズ	精神保健福祉	心身障害	成人	難病	その他疾患	妊産婦	乳児	（内訳）			幼児	その他
													未熟児	新生児	一般乳児		
4	家庭訪問	1,065	25	122	0	695	47	0	176	0	0	0	0	0	0	0	0
	所内相談	1,327	48	236	10	962	3	1	65	1	0	0	0	0	0	0	1
	電話相談	16,355	6,201	518	207	8,842	55	9	513	3	0	0	0	0	0	1	6
	文書その他の相談	344	81	184	1	59	0	0	19	0	0	0	0	0	0	0	0
	関係機関連絡	6,936	2,834	453	30	3,021	266	4	323	3	0	0	0	0	0	1	1
	合計	26,027	9,189	1,513	248	13,579	371	14	1,096	7	0	0	0	0	0	2	8
5	家庭訪問	1,284	4	134	0	830	74	0	238	3	0	0	0	0	0	1	0
	所内相談	1,367	43	215	3	985	17	0	104	0	0	0	0	0	0	0	0
	電話相談	11,363	732	711	201	8,994	237	5	472	6	0	0	0	0	0	0	5
	文書その他の相談	352	44	154	3	109	9	0	33	0	0	0	0	0	0	0	0
	関係機関連絡	5,650	974	841	1	3,192	310	0	324	3	0	0	0	0	0	3	2
	合計	20,016	1,797	2,055	208	14,110	647	5	1,171	12	0	0	0	0	0	4	7
6	家庭訪問	**1,239**	**13**	**191**	**0**	**744**	**112**	**1**	**178**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**
	所内相談	**1,431**	**47**	**259**	**1**	**1,043**	**19**	**1**	**60**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**1**
	電話相談	**9,032**	**474**	**871**	**111**	**6,940**	**180**	**1**	**446**	**2**	**0**	**4**	**0**	**0**	**4**	**0**	**3**
	文書その他の相談	**494**	**69**	**272**	**1**	**116**	**4**	**0**	**32**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**
	関係機関連絡	**6,730**	**824**	**1,766**	**36**	**3,480**	**286**	**0**	**328**	**3**	**0**	**4**	**0**	**0**	**0**	**0**	**3**
	合計	**18,926**	**1,427**	**3,359**	**149**	**12,323**	**601**	**3**	**1,044**	**5**	**0**	**8**	**0**	**0**	**4**	**0**	**7**

*心身障害に重症心身障害児（者）及び長期療養児を含む

保健師の家庭訪問対象の推移（平成27年度（2015年度）～令和6年度（2024年度））（図6－1）



学会報告状況（表6－2）

年度	学　会　名	担　当　名	演　　題
4	第18回東京都福祉保健医療学会	地域保健担当	八王子市における自殺未遂者対応 ガイド作成への取組み
	南多摩保健医療圏地域保健医療福祉フォーラム		
	保健予防長会		
	南多摩保健医療圏地域保健医療福祉フォーラム	感染症対策担当	八王子市での第6波における高齢者施設 クラスター対策 ～アンケート調査から第7波への対応を考える～
5	関東甲信越アルコール関連問題学会 八王子大会	地域保健担当	八王子精神障害者早期訪問支援事業の 取り組みから
	第82回日本公衆衛生学会	感染症対策担当	八王子市におけるCOVID-19対応 【第1報】全症例の検討 【第2報】保健師活動 【第3報】医療機関連携
	南多摩保健医療圏地域保健医療福祉フォーラム		八王子市における高齢者施設クラスター支援 ～新型コロナウイルス感染症対応をふりかえり、 今後の感染症対策を考える～
6	第20回東京都福祉保健医療学会	感染症対策担当	能登半島地震災害派遣の実際 ～1.5次避難所での経験を生かすために～

7 医療費等助成

医療費等助成制度について、患者等に対する適切な医療の提供と経済的負担の軽減を図った。
特定不妊治療（体外受精及び顕微授精）については、令和4年（2022年）4月1日からの医療保険の適用開始に伴い、それ以前に自費で開始していた治療について、夫婦1組につき1回に限り助成金の申請を受け付ける経過措置を設けたが、この経過措置は令和5年（2023年）6月30日をもって受付を終了した。

医療費等助成申請受理件数（表7－1）

疾病名			申請受理件数		
			4年度	5年度	**6年度**
総数			8,875	8,725	**8,839**
妊娠高血圧症候群等医療			4	2	**3**
未熟児養育医療			100	80	**72**
自立支援医療（育成医療）			12	5	**2**
療育医療			0	0	**0**
小児慢性特定疾病		悪性新生物	74	66	**67**
		慢性腎疾患	28	25	**25**
		慢性呼吸器疾患	13	14	**16**
		慢性心疾患	103	98	**95**
		内分泌疾患	49	38	**36**
		膠原病	14	17	**13**
		糖尿病	30	30	**27**
		先天性代謝異常	10	11	**16**
		血液疾患	15	16	**10**
		免疫疾患	1	2	**2**
		神経・筋疾患	60	63	**54**
		慢性消化器疾患	31	33	**36**
		染色体又は遺伝子に変化を伴う症候群	19	17	**21**
		皮膚疾患群	0	0	**2**
		骨系統疾患	14	12	**10**
		脈管係疾患	1	1	**1**
小児慢性特定疾病　合計			462	443	**431**
指定難病等＊	001	球脊髄性筋萎縮症	7	7	**10**
	002	筋萎縮性側索硬化症	40	47	**47**
	003	脊髄性筋萎縮症	3	1	**3**
	005	進行性核上性麻痺	55	57	**60**
	006	パーキンソン病	676	716	**711**
	007	大脳皮質基底核変性症	22	21	**23**
	008	ハンチントン病	3	1	**1**
	009	神経有棘赤血球症	1	0	**0**
	010	シャルコー・マリー・トゥース病	7	11	**8**

疾　病　名			申請受理件数		
			4年度	5年度	**6年度**
指定難病等＊	011	重症筋無力症	104	109	**112**
	013	多発性硬化症／視神経脊髄炎	130	134	**134**
	014	慢性炎症性脱髄性多発神経炎／多巣性運動ニューロパチー	36	32	**33**
	015	封入体筋炎	6	2	**3**
	016	クロウ・深瀬症候群	0	1	**1**
	017	多系統萎縮症	59	52	**49**
	018	脊髄小脳変性症（多系統萎縮症を除く。）	141	138	**141**
	019	ライソゾーム病	7	7	**8**
	021	ミトコンドリア病	11	11	**10**
	022	もやもや病	67	69	**68**
	023	プリオン病	2	5	**2**
	026	HTLV-1関連脊髄症	1	1	**1**
	027	特発性基底核石灰化症	1	1	**0**
	028	全身性アミロイドーシス	19	25	**28**
	030	遠位型ミオパチー	5	5	**5**
	034	神経線維腫症	12	16	**15**
	035	天疱瘡	15	12	**13**
	037	膿疱性乾癬（汎発型）	12	18	**14**
	038	スティーヴンス・ジョンソン症候群	0	0	**1**
	039	中毒性表皮壊死症	1	1	**1**
	040	高安動脈炎	20	20	**21**
	041	巨細胞性動脈炎	12	14	**25**
	042	結節性多発動脈炎	15	12	**9**
	043	顕微鏡的多発血管炎	58	60	**79**
	044	多発血管炎性肉芽腫症	15	13	**12**
	045	好酸球性多発血管炎性肉芽腫症	55	58	**60**
	046	悪性関節リウマチ	25	20	**22**
	047	バージャー病	3	5	**2**
	048	原発性抗リン脂質抗体症候群	9	8	**10**
	049	全身性エリテマトーデス	294	307	**317**
	050	皮膚筋炎／多発性筋炎	125	141	**140**
	051	全身性強皮症	138	144	**144**
	052	混合性結合組織病	62	63	**63**
	053	シェーグレン症候群	57	70	**61**
	054	成人スチル病	20	29	**17**
	055	再発性多発軟骨炎	3	7	**6**
	056	ベーチェット病	87	83	**84**
	057	特発性拡張型心筋症	89	88	**91**
	058	肥大型心筋症	15	12	**9**
	059	拘束型心筋症	0	2	**0**
	060	再生不良性貧血	33	35	**37**
	061	自己免疫性溶血性貧血	5	5	**5**
	062	発作性夜間ヘモグロビン尿症	3	3	**4**

疾　病　名			申請受理件数		
			4年度	5年度	**6年度**
指定難病等＊	063	特発性血小板減少性紫斑病	64	67	**62**
	064	血栓性血小板減少性紫斑病	3	4	**5**
	065	原発性免疫不全症候群	5	5	**6**
	066	IgA腎症	43	49	**55**
	067	多発性嚢胞腎	75	64	**63**
	068	黄色靭帯骨化症	28	24	**22**
	069	後縦靭帯骨化症	142	134	**128**
	070	広範脊柱管狭窄症	18	19	**18**
	071	特発性大腿骨頭壊死症	65	72	**60**
	072	下垂体性ADH分泌異常症	11	11	**14**
	073	下垂体性TSH分泌亢進症	0	0	**1**
	074	下垂体性PRL分泌亢進症	6	8	**6**
	075	クッシング病	9	7	**8**
	077	下垂体性成長ホルモン分泌亢進症	14	15	**16**
	078	下垂体前葉機能低下症	63	71	**73**
	079	家族性高コレステロール血症（ホモ接合体）	1	1	**1**
	081	先天性副腎皮質酵素欠乏症	8	5	**7**
	082	先天性副腎低形成症	1	1	**1**
	083	アジソン病	1	2	**2**
	084	サルコイドーシス	52	59	**54**
	085	特発性間質性肺炎	182	175	**207**
	086	肺動脈性肺高血圧症	19	24	**22**
	088	慢性血栓塞栓性肺高血圧症	23	28	**26**
	089	リンパ脈管筋腫症	5	6	**6**
	090	網膜色素変性症	93	95	**86**
	092	特発性門脈圧亢進症	0	1	**1**
	093	原発性胆汁性胆管炎（旧原発性胆汁性肝硬変）	61	63	**56**
	094	原発性硬化性胆管炎	5	6	**6**
	095	自己免疫性肝炎	37	36	**35**
	096	クローン病	191	188	**206**
	097	潰瘍性大腸炎	731	761	**815**
	098	好酸球性消化管疾患	7	8	**12**
	099	慢性特発性偽性腸閉塞症	2	2	**2**
	106	クリオピリン関連周期熱症候群	1	0	**0**
	107	全身型若年性特発性関節炎	6	4	**8**
	111	先天性ミオパチー	5	4	**5**
	113	筋ジストロフィー	32	27	**27**
	116	アトピー性脊髄炎	0	1	**1**
	117	脊髄空洞症	2	1	**1**
	122	脳表ヘモジデリン沈着症	2	2	**1**
	124	皮質下梗塞と白質脳症を伴う常染色体優性脳動脈症	1	1	**2**
	125	神経軸索スフェロイド形成を伴う遺伝性びまん性白質脳	2	1	**0**
	127	前頭側頭葉変性症	5	3	**3**

疾　病　名			申請受理件数		
			4年度	5年度	**6年度**
指定難病等＊	137	限局性皮質異形成	1	1	**1**
	138	神経細胞移動異常症	1	1	**0**
	140	ドラベ症候群	1	1	**1**
	141	海馬硬化を伴う内側側頭葉てんかん	1	1	**1**
	144	レノックス・ガストー症候群	2	2	**2**
	146	大田原症候群	1	1	**0**
	158	結節性硬化症	3	3	**5**
	162	類天疱瘡（後天性表皮水疱症を含む。）	15	16	**21**
	163	特発性後天性全身性無汗症	3	3	**3**
	166	弾性繊維性仮性黄色腫	4	2	**1**
	167	マルファン症候群	11	14	**18**
	168	エーラス・ダンロス症候群	1	0	**1**
	171	ウィルソン病	5	2	**2**
	189	無脾症候群	2	2	**2**
	193	プラダー・ウィリ症候群	2	2	**3**
	194	ソトス症候群	1	1	**0**
	203	22q11.2欠失症候群	0	1	**1**
	208	修正大血管転位症	1	0	**0**
	209	完全大血管転位症	3	2	**3**
	210	単心室症	4	3	**4**
	212	三尖弁閉鎖症	3	3	**2**
	213	心室中隔欠損を伴わない肺動脈閉鎖症	0	0	**1**
	214	心室中隔欠損を伴う肺動脈閉鎖症	2	3	**1**
	215	ファロー四徴症	4	3	**4**
	217	エプスタイン病	3	3	**3**
	218	アルポート症候群	0	0	**1**
	221	抗糸球体基底膜腎炎	0	2	**1**
	222	一次性ネフローゼ症候群	77	76	**76**
	223	一次性膜性増殖性糸球体腎炎	0	0	**1**
	224	紫斑病性腎炎	3	3	**4**
	225	先天性腎性尿崩症	1	1	**1**
	226	間質性膀胱炎（ハンナ型）	11	8	**12**
	227	オスラー病	6	6	**7**
	229	肺胞蛋白症（自己免疫性又は先天性）	1	3	**2**
	235	副甲状腺機能低下症	1	0	**0**
	236	偽性副甲状腺機能低下症	3	4	**2**
	238	ビタミンD抵抗性くる病／骨軟化症	1	0	**0**
	240	フェニルケトン尿症	2	4	**1**
	250	グルタル酸血症2型	1	1	**1**
	257	肝型糖原病	1	1	**1**
	266	家族性地中海熱	1	2	**3**
	269	化膿性無菌性関節炎・壊疽性濃皮症・アクネ症候群	0	0	**1**
	270	慢性再発性多発性骨髄炎	1	1	**1**

疾　病　名			申請受理件数		
			4年度	5年度	**6年度**
指定難病等＊	271	強直性脊椎炎	31	21	**27**
	276	軟骨無形成症	1	1	**1**
	280	巨大動静脈奇形（頚部顔面又は四肢病変）	1	1	**1**
	281	クリッペル・トレノネー・ウェーバー症候群	1	1	**2**
	283	後天性赤芽球癆	3	2	**2**
	284	ダイアモンド・ブラックファン貧血	1	1	**1**
	285	ファンコニ貧血	0	1	**1**
	287	エプスタイン病	1	1	**1**
	288	自己免疫性後天性凝固因子欠乏症（旧自己免疫性出血病Ⅷ）	3	2	**1**
	289	クロンカイト・カナダ症候群	0	1	**1**
	296	胆道閉鎖症	1	1	**1**
	297	アラジール症候群	1	1	**1**
	298	遺伝性膵炎	1	1	**1**
	300	IgG4関連疾患	11	17	**20**
	301	黄斑ジストロフィー	2	1	**1**
	302	レーベル遺伝性視神経症	1	1	**1**
	304	若年発症型両側性感音難聴	1	1	**1**
	305	遅発性内リンパ水腫	0	0	**3**
	306	好酸球性副鼻腔炎	105	124	**155**
	309	進行性ミオクローヌスてんかん	1	0	**0**
	310	先天異常症候群	1	0	**0**
	311	先天性三尖弁狭窄症	1	1	**1**
	326	大理石骨病	1	1	**1**
	330	先天性気管狭窄症/先天性声門下狭窄症	1	1	**1**
	331	特発性多中心性キャッスルマン病	8	9	**11**
	髄	原発性骨髄線維症	17	12	**12**
	母	母斑症（指定難病を除く）	0	0	**1**
	石	肝内結石症	4	5	**3**
	好	古典的特発性好酸球増多症候群	1	0	**0**
	気	びまん性汎細気管支炎	5	4	**5**
	遺	遺伝性QT延長症候群	1	1	**2**
	脈	網膜脈絡膜萎縮症	1	1	**1**
	ス	スモン	1	1	**1**
	膵	重症急性膵炎（更新のみ）	2	2	**2**
指定難病等　合計			5,001	5,153	**5,308**

疾　病　名		申請受理件数		
		4年度	5年度	**6年度**
人工透析を必要とする腎不全		1,465	1,438	**1,454**
先天性血液凝固因子欠乏症等		38	33	**38**
原子爆弾被爆者に対する援護		57	50	**59**
ウイルス肝炎	B型・C型ウイルス肝炎治療（肝がん含む）	299	312	**308**
大気汚染医療	気管支ぜん息	1,120	1,015	**968**
特定不妊治療費助成	助成件数	317	4	**0**
	助成実人数	255	4	**0**
不育症検査費助成	先進医療告示検査	0	0	**0**
	東京都助成検査	15	5	**8**
がん患者ウィッグ・補整具購入等費用助成	助成件数	－	190	**196**
	助成実人数	－	185	**194**

*「難病の患者に対する医療等に関する法律」（平成27年（2015年）1月1日付施行）に基づく医療費助成対象の指定難病は、令和7年（2025年）3月31日現在341疾病が指定されている。
難病医療費助成の対象となる指定難病等とは、東京都独自の制度に基づく疾病を含む。

*妊娠高血圧症候群等医療、未熟児養育医療・・・認定審査・支払事務
自立支援医療（育成医療）、療育医療、小児慢性特定疾病・・・申請受理・認定審査・支払事務
指定難病等医療費助成（経由事務）・・・申請受理・東京都への進達事務
大気汚染医療・・・申請受理・認定審査
特定不妊治療費助成・・・申請受理・認定審査・支払事務
不育症検査費助成（先進医療告示検査）・・・申請受理・認定審査・支払事務
不育症検査費助成（東京都助成検査）・・・申請受理・東京都への進達事務
がん患者ウィッグ・補整具購入等費用助成・・・申請受理・認定審査・支払事務